

輝かしい歴史的公演から、歴史をたどる日本初放送のドキュメンタリー番組まで

9月特集 映画『ボリショイ・バビロン 華麗なるバレエの舞台裏』公開記念 華麗なるボリショイ・バレエの栄光

日本で唯一のクラシック音楽専門チャンネル クラシカ・ジャパン(株式会社 東北新社 東京都港区赤坂4-8-10/代表取締役社長 植村徹)では、映画『ボリショイ・バビロン 華麗なるバレエの舞台裏』(9/19(土)よりBunkamuraル・シネマほか全国順次公開/ Presented by クラシカ・ジャパン)の公開にあわせ、9月に、特集「映画『ボリショイ・バビロン 華麗なるバレエの舞台裏』公開記念 華麗なるボリショイ・バレエの栄光」を放送します。特集では、公開一週間前の9/12(土)から10日間、ロシアの至宝ボリショイ・バレエ団の歴史的公演や、日本初放送のドキュメンタリー番組などをお届け。また、映画公開日の9/19(土)にはボリショイの歴史の時系列に沿って番組を一挙放送いたします。華やかな舞台から、ボリショイ劇場の歴史、20世紀ボリショイを代表するダンサーの貴重映像まで、ボリショイ・バレエのエッセンスが全てわかる10日間連続特集。これを見れば、映画がより一層お楽しみいただけること間違いなしの贅沢な特集です。また、10月には映画にも出演しているボリショイ・バレエのプリンシパル、マリーヤ・アレクサンドロワさんのインタビューをオリジナル番組『クラシカ・音楽人くびと』で放送します。乞うご期待ください。

① ドキュメンタリーで知るボリショイ劇場の歴史とバレエスタイル

～ボリショイ・バレエのスタイルの秘密～

ドキュメンタリー「ボリショイ・スタイルを求めて」

9月12日(土) 21:00～21:55 他

～ボリショイ劇場の歴史～

映像でたどるボリショイ再生への道

9月19日(土) 22:15～23:20 他

② 歴史的映像で知るボリショイ・バレエ伝説のスターたち

～ガリーナ・ウラノワを見る～

ボリショイ・バレエ・イン・ロンドン1956

9月19日(土) 9:55～11:45 他

～マイヤ・プリセツカヤを見る～

プリセツカヤの『白鳥の湖』1976

9月13日(日) 21:00～23:25 他

～エカテリーナ・マクシーモワ&ウラジーミル・ワシーリエフを見る～

ボリショイ・バレエ1979『スパルタクス』

9月14日(月) 21:00～23:25 他

～エカテリーナ・マクシーモワ&ウラジーミル・ワシーリエフを見る～

ボリショイ・バレエ1978『くるみ割り人形』

9月15日(火) 21:00～22:50 他

～ナデジダ・バヴロワを見る～

ボリショイ・バレエ1978『ドン・キホーテ』

9月16日(水) 21:00～23:00 他

～ニーナ・アナニアシヴィリを見る～

ボリショイ・バレエ1991『ジゼル』

9月17日(木) 21:00～23:00 他

③ 新生ボリショイ・バレエを見る

～ボリショイ・バレエ芸術監督へのインタビュー～

セルゲイ・フィーリンに聞く！新生ボリショイ劇場

9月18日(金) 21:00～21:15 他

～生まれ変わったボリショイ劇場こけら落し～

新生ボリショイ劇場 オープニング・ガラ

9月18日(金) 21:15～23:10 他

④ 映画公開日9月19日(土)は特別編成で、全番組をボリショイの時系列に一挙連続放送。 ※9:00～25:30

ボリショイ・バビロン

華麗なるバレエの舞台裏

世界を震撼させた事件から2年、
最高峰のバレエ団が、初めて秘密の扉を開く

2013年、ボリショイ・バレエ団の元スターダンサーにして芸術監督のセルゲイ・フィーリンが顔面に硫酸を浴びせられるという衝撃の事件で、ソリストのパーヴェル・ドミトリチェンコが逮捕される。二人はキャスティングを巡って対立していた。やがて事件の背景に隠された、熾烈な勢力争い、嫉妬、横領、賄賂などのスキャンダルが暴かれていく。ロシア政府は新しい総裁としてウラジーミル・ウーリンを送りこみ、そこへ片目を失明したフィーリンが復活する。だが、この二人もかつて反目した仲だった。ダンサーたち自らによって語られる事件の証言、『白鳥の湖』『ラ・バヤデル』など普段は決して目にする事の出来ない煌びやかなステージの裏側、練習風景など貴重な映像が詰まった本作はまさにボリショイ・バレエの秘密の扉を開く衝撃の1本だ。



© Red Velvet Films Ltd

監督・撮影：ニック・リード/製作・共同監督：マーク・フランチェッティ/製作総指揮：サイモン・チン(アカデミー賞受賞『マン・オン・ファイヤー』『シュガー・マン』奇跡に愛された男)、マクシム・ボズドロフキン
出演：マリーヤ・アレクサンドロワ、アナスタシア・メーシコワ、マリーヤ・アラシュ、セルゲイ・フィーリン、ウラジーミル・ウーリン、ボリス・アキモフほか 原題：BOLSHOI BABYLON/2015/イギリス/ロシア語・英語/87分/配給：東北新社/ Presented by クラシカ・ジャパン/公式HP: <http://www.bolshoi-babylon.jp/> ©2015 RED VELVET FILMS LTD. ALL RIGHTS RESERVED

2015年9月19日(土)よりBunkamuraル・シネマほか全国順次公開

【クラシカ・ジャパン】ドイツで誕生した世界初のクラシック音楽専門チャンネル“CLASSICA”の日本版で、1998年に開局した日本で唯一のクラシック音楽専門TVチャンネル。話題のコンサートからオペラ、バレエ、ドキュメンタリーまで、毎月100タイトル以上の音楽番組を放送中。クラシック音楽の名曲を、ホールの臨場感とともに毎日24時間お楽しみいただけます。スカパー！プレミアムサービス(637ch)、スカパー！プレミアムサービス光(637ch)、全国のケーブルテレビ局、ブロードバンドTVでご覧頂けます。

■視聴に関するお問い合わせ先■

クラシカ・ジャパン <http://www.classica-jp.com> カスタマーセンター TEL:045-330-2178 (受付時間：平日9:30～18:30 ※土日・祝日除く)

■本リリースに関するお問い合わせ先■

(株)東北新社 放送本部 プロモーション部 担当：林[m-hayashi@tfc.co.jp]
〒107-8460 東京都港区赤坂4-8-10 TEL:03-5414-0305 FAX:03-5414-0433

① ドキュメンタリーで知るポリショイ劇場の歴史とバレエスタイル

～ポリショイ・バレエのスタイルの秘密～

ドキュメンタリー「ポリショイ・スタイルを求めて」

9月12日(土) 21:00～21:55 他

マイヤ・プリセツカヤ、エカテリーナ・マクシーモフ、ウラジミール・ワシーリエフなど、20世紀ポリショイ・バレエを彩ったダンサーのバレエスタイルを作ったものとは？英国ロイヤル・バレエの元プリンシパルのデボラ・ブルがポリショイ劇場とポリショイ・バレエ学校を訪ね、リハーサルや舞台裏、教室の様子を紹介しながら、ポリショイ・バレエがなぜ世界的バレエ団と言われるのか、その秘密と本質に迫るドキュメンタリー。



デボラ・ブルのJon Slade/Sky Arts.

[出演]デボラ・ブル(ナビゲーター)ポリス・アキモフ(ポリショイ・バレエ団バレエマスター)リュディミラ・セメニヤカ(ポリショイ・バレエ団バレエエミストレス)イェクサ・ムハメドフ(ポリショイ・バレエ団元プリンシパル)ニーナ・アナニアシヴィリ(ポリショイ・バレエ団元プリンシパル)マリーナ・レオノワ(ポリショイ・バレエ学校校長)イリヤ・クズネツォフ(ポリショイ・バレエ学校教師)タマラ・ロホ(イングリッシュ・ナショナル・バレエ芸術監督)ウェン・マクラー(英国ロイヤル・バレエ常任振付家)ジュディス・マクケレル(『ガーディアン』誌/バレエ評論家)クリスティーナ・エズライ(『クレムリンの白鳥』著者)マラ・シュティン(ロンドン・キングス・カレッジ神学者)他[監督]ヴィクトリア・ヘン(制作)2014年

～ポリショイ劇場の歴史～

映像でたどるポリショイ再生への道

9月19日(土) 22:15～23:20 他



©Denis Snegirev

ロシアが国家事業として500億円を投じたと言われるポリショイ劇場の大規模改修。ロシアの芸術と政治を色濃く反映してきた劇場の歴史や改修の経過を、CGや貴重映像を織り交ぜながら辿るドキュメンタリー。ユーリー・グリゴロヴィチ、ガリーナ・ウラノワ、エカテリーナ・マクシーモフなど伝説のスターの秘蔵映像や、劇場を支える人たちのインタビューは必見。

[出演]アナトリー・イクサノフ(ポリショイ劇場総裁(当時))ニキータ・シャンギン(建築家)ユルゲン・ラインホルト(音響学者)ユーリー・グリゴロヴィチ(ポリショイ劇場バレエマスター)他[監督]デニス・スネギレフ(制作)2011年

② 歴史的映像で知るポリショイ・バレエ伝説のスターたち

～ガリーナ・ウラノワを見る～

ポリショイ・バレエ・イン・ロンドン1956

9月19日(土) 9:55～11:45 他

西側ではその全貌が知られていなかったポリショイ・バレエが1956年10月に行った伝説のロンドン公演。民族的舞踊の荒々しさと男性ダンサーの圧倒的な身体能力、クール・ド・バレエの迫力、そして目を見張る超絶技巧は、エレガンスを重視する英国バレエ界に衝撃を与えた。20世紀を代表するダンサー、ガリーナ・ウラノワの『瀕死の白鳥』『ジゼル』を収録。



©Unite!

[演目]『バフサイの泉』より「ダッタン人の兵士たちの踊り」(ロスティスラフ・ザハロフ振付)、『白鳥の湖』より「スベインの踊り」(アレクサンドル・ゴルスキー振付)、『春の洪水』(アサフ・メッセレル振付)、歌劇『イヴン・スーニン』より「ポロネーズとクラコヴィアク」(ロスティスラフ・ザハロフ振付)、歌劇『ファウスト』より「ワルブルグスの夜」(レオノード・ラウロフスキー振付)、『瀕死の白鳥』(ミハイル・フォーキン振付)、『ジゼル』(レオノード・ラウロフスキー振付/ジャン・コリリ&ジュール・ペロー、マリウス・ブティバ(原振付)) [出演]ガリーナ・ウラノワ、ニコライ・ファシェーチェフ、ポリショイ・バレエ団[指揮]ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー、ユーリー・ファイアー(演奏)コヴェンント・ガーデン王立歌劇場管弦楽団、ボーンマス交響楽団[収録]1956年10月コヴェンント・ガーデン王立歌劇場(ロンドン)&ドイツ劇場(クロイテン)

～マイヤ・プリセツカヤを見る～

プリセツカヤの『白鳥の湖』1976

9月13日(日) 21:00～23:25 他



©GTRF

1947年から30年以上にわたり、オデット/オディールを800回以上踊ったといわれる20世紀最高のバレリーナ、マイヤ・プリセツカヤ唯一の『白鳥の湖』全幕映像。プリセツカヤ51歳。旧ソ連体制の中でも誇りを貫いた、まさに『闘う白鳥』の異名をとるプリセツカヤの神髄を見る、伝説の貴重映像。

[出演]マイヤ・プリセツカヤ(オデット/オディール)アレクサンドル・ボガティリョフ(ジークフリート)ポリス・エフィモフ(ロットバルト)ポリショイ・バレエ団[振付&台本]ユーリー・グリゴロヴィチ[オリジナル振付]マリウス・ブティバ&レフ・イワノフ[音楽]チャイコフスキー[指揮]アリグス・ジュライティス[演奏]ポリショイ劇場管弦楽団[収録]1976年クレムリン大宮殿

チャンネル
初放送

～エカテリーナ・マクシーモフ&ウラジミール・ワシーリエフを見る～

ポリショイ・バレエ1979『スバルタクス』

9月14日(月) 21:00～23:25 他

ハチャトリヤンの音楽に、当時のポリショイ・バレエ芸術監督グリゴロヴィチが振り付け、ワシーリエフ(スバルタクス)とマクシーモフ(フリーギア)の主演で1968年初演。この2人はその後の『スバルタクス』の理想像となった。全てダンスで綴られ、男性ダンサーに要求される豪快な跳躍と圧倒的スケールの群舞など、そのエネルギーがまさにポリショイの看板にふさわしい。

[出演]ウラジミール・ワシーリエフ(スバルタクス)エカテリーナ・マクシーモフ(フリーギア)ミハイル・ガボヴィッチ(クラウス)タチアナ・コリコワ(エキナ)[振付]ユーリー・グリゴロヴィチ[音楽]アラム・ハチャトリヤン[収録]1979年ポリショイ劇場

チャンネル
初放送

～エカテリーナ・マクシーモフ&ウラジミール・ワシーリエフを見る～

ポリショイ・バレエ1978『くるみ割り人形』

9月15日(火) 21:00～22:50 他

登場するだけで観客を魅了したマクシーモフの当たり役(マーシャ)。くるみ割り人形と王子を演じるのは彼女の夫君ワシーリエフ。チャイコフスキーの音楽に、当時のポリショイ・バレエ芸術監督ユーリー・グリゴロヴィチが振り付けた、今なおロシアで愛されている名作。

[出演]エカテリーナ・マクシーモフ(マーシャ)ウラジミール・ワシーリエフ(くるみ割り人形/王子)[振付]ユーリー・グリゴロヴィチ[オリジナル振付]マリウス・ブティバ[音楽]チャイコフスキー[収録]1978年ポリショイ劇場

～ナデジダ・パヴロワを見る～

ポリショイ・バレエ1978『ドン・キホーテ』

9月16日(水) 21:00～23:00 他

1978年ゴルスキー版のポリショイ劇場公演。ポリショイの至宝ナデジダ・パヴロワの数少ない全幕映像。バジルは彼女の夫ヴァチェスラフ・ゴルデーエフ。第1幕は黄色のスカート、第3幕のグラン・パド・ドゥでは赤の衣裳を纏ったパヴロワのキトリアは、表情が生き生きとしたキュートな魅力。

[出演]ナデジダ・パヴロワ(キトリノ/ドゥルシネア)ヴァチェスラフ・ゴルデーエフ(バジル)ヴァディミール・レヴァチョフ(ドン・キホーテ)ポリショイ・バレエ団[振付]マリウス・ブティバ&アレクサンドル・ゴルスキー[音楽]ルードヴィヒ・ミンクス[指揮]アレクサンドル・コピロフ[演奏]ポリショイ劇場管弦楽団[収録]1978年ポリショイ劇場(モスクワ)

チャンネル
初放送

～ニーナ・アナニアシヴィリを見る～

ポリショイ・バレエ1991『ジゼル』

9月17日(木) 21:00～23:00 他

ロシアがどのような社会体制になろうといたつ時代にも常に上演され続けてきた『ジゼル』は、ポリショイにとって特別な作品。純粋な娘から、恋人の裏切りを知った後の狂乱の死、そして精霊になって恋人を守り続ける女性。演技に定評のあるアナニアシヴィリが円熟の、そして迫真のジゼルを見せる。

[出演]ニーナ・アナニアシヴィリ(ジゼル)ヴィクトール・バリキン(アルベルト)ポリショイ・バレエ団[振付]ユーリー・グリゴロヴィチ[オリジナル振付]ジャン・コリリ&ジュール・ペロー、マリウス・ブティバ[音楽]アドルフ・アダン[収録]1991年ポリショイ劇場(モスクワ)

③ 新生ポリショイ・バレエを見る

～ポリショイ・バレエ芸術監督へのインタビュー～

セルゲイ・フィーリンに聞く！新生ポリショイ劇場

9月18日(金) 21:00～21:15 他

映画『ポリショイ・パピロン 華麗なるバレエの舞台裏』の中心人物！

ポリショイ・バレエの元スターダンサーで、現在ポリショイ・バレエ芸術監督を務めるセルゲイ・フィーリン。この番組は、2012年1月ポリショイ・バレエ来日公演の際、芸術監督就任間もないフィーリンをインタビューした貴重映像。芸術監督としての抱負、新時代を迎えたポリショイ劇場の新たな魅力、そして栄光の歴史の先を見据えたポリショイ・バレエの未来など、フィーリンの若々しい意気込みが伝わってきます。

[出演]セルゲイ・フィーリン(ポリショイ・バレエ芸術監督) [収録]2012年1月東京

～生まれ変わったポリショイ劇場こけらし～

新生ポリショイ劇場 オープニング・ガラ

9月18日(金) 21:15～23:10 他

6年におよぶ大規模改修を経て、2011年10月28日、メドヴェージェフ大統領(当時)や国賓らVIPが隣席するなかで行われた新生ポリショイ劇場枯落とし。ポリショイが誇るスターダンサーや世界的オペラ歌手が綺羅星の如く登場する圧巻のステージ。



新生ポリショイ劇場 オープニング・ガラ © Damer Yusuupov

[演目]『シンデレラ』より「ワルツ」(ビエール・ラコット振付)、『スバルタクス』より「ユーリー・グリゴロヴィチ振付」、『バリの炎』より「バスク人の踊り」(アレクセイ・ラトマンスキー振付)、『黄金時代』より「タンゴ」(ユーリー・グリゴロヴィチ振付)、『白鳥の湖』より「アダージョ」(ユーリー・グリゴロヴィチ振付)、『ドン・キホーテ』より「アレクサンドル・ゴルスキー&マリウス・ブティバ振付」他[指揮]ヴァシリー・シナイスキー[演奏]ポリショイ劇場管弦楽団及び同合唱団[収録]2011年10月28日ポリショイ劇場

④ 映画公開日9月19日(土)は特別編成で、全番組をポリショイの時系列に一挙連続放送。